



Rotary
District 2680



ROTARY
CONNECTS
THE WORLD

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2019-20



GOVERNOR

Sachio Asaki

OFFICE

Kobe Portopia Hotel 722,
6-10-1, Minatojima-Nakamachi, Chuo-ku, Kobe, Hyogo
650-0046, Japan

The Four-Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

CONTENTS

GOVERNOR'S LETTER.....	1
新型コロナウイルスとの闘いにおけるロータリーの役割...	2
地区大会PI会長代理公式セッション.....	4
4月の地区活動予定.....	14
文庫通信.....	14
神戸第2グループIM.....	15
2021学年度米山記念奨学金学校説明会.....	15
地区補助金プロジェクト（相生、豊岡）.....	16
2020年地区チーム研修セミナー.....	17
コーディネーターニュース.....	18
新会員紹介.....	19
ご寄付感謝.....	19
ガバナー事務所からのお知らせ.....	21
会員数報告	



本年度の表紙

絵画提供:福田泰弘会員(神戸)

きれいな風景が好きです
板にあると描いています
童心にかえり夢中で
表紙絵に採用され光栄です

❖今月の表紙

ベルゲン（ノルウェー）
山にかこまれた港町ベルゲン
カラフルで三角屋根が並ぶ古都の風景は
独特のエキゾチックなムードで印象的です
六甲山や神戸を思いながらイラストしました。

クラブ会長の皆様 クラブ幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区

ガバナー 浅木 幸雄 (神戸)

世界規模で拡大深刻化する新型コロナウイルスの影響により、皆様におかれては、例会の催否はもちろぬ、内外の会合や交流活動など、日々刻々と変化する状況への対応に苦慮しておられるものとお察し致しております。

この未曾有の事態に際し、RIからもMy ROTARYを通じて次々にメッセージが寄せられておりますが、ついに本日、来る6月に開催を予定していたハワイ国際大会を中止する旨、まことに残念な決定が通達されるに及びました。

斯かる事態に臨み、小職と致しまして何よりも優先すべきは会員各位とご家族、ロータリーファミリーの皆様、次いで各地域、職域に於ける予防衛生と健康維持であります。この基本に沿って、今年度当地区の行事会合に関する当面の方針については既に決定通知の通りですが、併せて皆様には今号の「地区活動予定」ページをご参照下さいますようお願い致します。

さて、今年度の地区大会が大幅な日程圧縮のやむなきに至ったことは既に御承知の通りであります。何よりも開催を楽しみにされていた皆様、また多大の労力と時間を割いて準備にあたられた全ての関係各位におかれましては、ここにあらためて心よりお詫び申し上げる次第です。

この苦渋の決断にあたって、直前二日間という極めて限られた時間内にプログラム変更の提議決定を行い開催出来たことは、何よりも井植委員長をはじめ大会実行委員会及び担当役員、ホストクラブ各位の迅速なご判断と実行力の賜物であります。そして急な決定にもかかわらず、その趣旨をご賢察のう

え、厳しい環境下ご参集いただいたご来賓と各クラブリーダーの皆様のご理解とご厚情、さらに遠路デンマークより万難を排して来神されたパー・ホイエンRI会長代理の熱意には、今以て感謝の言葉もなく、この異例づくめの日を通じて僅かに救われる思いが致しました。RI会長代理の温情溢れるスピーチにつきましては、後段にその全文を掲載致しますので、当日参加が叶わなかった皆様には、この機会にぜひご精読下さいますよう、併せてお願い申し上げます。

また、本稿の出稿直前には、大きな懸案となっておりました今年度交換学生に対する緊急措置について協議を行い、すべての留学生を即時帰国させる旨、速やかに決定することが出来ました。未だ移動や防疫措置等、種々困難が予想されるため今号での詳述は避けませんが、この措置にあたって発揮された黒田危機管理委員長、白井青少年交換小委員長をはじめ、社会奉仕・国際奉仕各委員会の皆様のご慧眼と果敢な行動力には同じく心からの賛辞と感謝を申し上げます。

空前の危難と云える現況なればこそ、この緊急時に斯くも優れた組織とスタッフに恵まれた好運を心から誇りと思い、小職以下、地区と致しましては愈々全力を以て対処する決意であります。今後さらに厳しい決断や行動を迫られる事態も予想されますが、どうか皆様「明けない夜はありません」、予防衛生と健康管理にくれぐれもご留意のうえ、困難に際しては随時ご相談、ご要請下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

ロータリアンの皆さま

現在、新型コロナウイルス（COVID-19）が私たちの生活のあらゆる側面にリアルタイムで影響を及ぼしており、ロータリアンは通常とは異なる事態に直面しています。「世界を変える行動人」として自由に動き、会合を開き、支援の手を差し伸べて世界に関与できることが最善の状態ではありますが、目下の状況では、一緒に学び、成長し、そして奉仕することが非常に困難となっています。

リーダーシップが求められる今日、私たちは地域社会のリーダーとなっており、多くの点において今こそ私たちが必要とされるときとなります。私たちはこれまで、助けを必要としている人びとに迅速に支援を提供するため、行動し、協力する能力を証明してきました。それはまさに、現在の世界で必要とされているスキルです。新型コロナウイルスに対する世界的な取り組みは各国での行動にかかっており、ロータリーには、すべての国と地域社会で、それらの行動を前進させるための能力が備わっています。

ロータリアンは、ロータリークラブ、ローターアクター、インターアクターと協力し、あらゆる技術を駆使して大きなプロジェクトに取り組むことができます。実際、保健当局が必要とされる情報を伝えたり、必要な機器や支援を提供したりする際に、ロータリークラブが力となる例が数多くあります。

ロータリー会長、そして会長エレクトとして、私たちは今後のロータリー行事に関して極めて真剣に検討を行ってきました。ご存じかもしれませんが、私たちは国連との協力関係に焦点を置いた二つの会長主催会議（それぞれパリとローマが開催地）を中止するという困難な決定を下しました。また、ロータリー地区とクラブには、国や地元の保健当局の勧告に従って、近く開催予定の会合や行事を中止また

は延期することを推奨しております。

この困難な状況において、すでに多くのクラブや地区が、テクノロジーを賢明に駆使し、それぞれの地域社会でリーダーシップを発揮する機会を見出しています。例として、イタリアのEクラブは新型コロナウイルスへの認識向上を目的としたオンラインセッションをライブ発信し、台湾のクラブは企業や薬剤協会と連携して手の消毒液ボトル1600本を基隆市に提供し、スリランカでは保健推進局によるウイルス対策メッセージの配信を援助するため複数クラブがソフトウェアとハードウェアのアップグレードを支援しています。

ウイルスの状況が今後どのような経路をたどるのかはまだ分かりません。私たちは、保健システムによる課題への対応を可能にするために、短期的に症例数を減らすための役割を果たすことができるでしょう。もし世界の力を集結して現況の制御に役立つことができれば、願わくば、ホノルルで開催される2020年ロータリー国際大会で、私たちの中核的価値観をあらためて心に刻むことができることでしょう。そこで私たちが共に過ごす時間は、これまで以上に大きな意味と目的をもつことでしょう。

すべての参加者の安全を確保するため、6月の国際大会の計画を今後も綿密に検討していくことをご承知おきください。世界保健機関（WHO）や米国疾病対策センター（CDC）など、世界で最も信頼される情報源を注視しつつ、皆さまと皆さまのご家族が大会参加に関して何が最善であるかを決定できるようにしたいと考えております。

今は、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを革新的な方法で示す機会となります。また、私たちはWHOと地元保健当局の勧告に注意深く従うべき

であり、それには、感染を引き起こしうる不必要な接触を減らすためにクラブの行事や会合を中止することも含まれます。私たちが注力できることは、恵まれない境遇にある人びとが孤立や不安に対応できるよう支援し、保健当局が現況に対処できるよう支援するなど、各地域社会での活動となるでしょう。

私たちはリアルタイムでこの状況に対応しています。最新情報は、rotary.orgの新型コロナウイルス関連ページをご参照ください。

私たちのほぼ全員にとって、これは前例のない挑戦です。しかし同時に、人びとと地域社会を導き、世界を良い方向へと導くための意義ある新しい方法

を見つける機会ともなります。

私たちは、地元と世界中で地域社会を守り、かつ強化するために多くを実現する団体の一員であることを、かつてないほどに誇りとすることができるでしょう。

心を込めて

2019-20年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
2020-21年度国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

* My ROTARYの最新情報 (2020.3.19更新)

(検索方法: 「My ROTARY」ログイン→トップページに掲載の「新着情報」欄の「最新情報はこちらから」をクリック)

ロータリーでは新型コロナウイルス (COVID-19) の状況をモニタリングしており、ロータリーの運営、行事、研修セミナー等への影響の可能性を引き続き注視しています。影響を受けている事柄は下記のとおりです。

ロータリー国際大会

6月6～10日にハワイにて開催を予定していた本年度の大会は中止となりました。

クラブと地区の会合

RIは、地区、ロータリークラブおよびローターアクトクラブが、国・地元の保健当局の勧告に従い、会合・イベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しています。旅行やイベントへの参加を検討する場合、各自の健康状態や現地の状況にご注意ください。

ロータリー青少年交換

大使館や領事館、国際的な保健機関、保健当局等のガイドラインを確認してください。相手地区で感染予防対策が取られているかどうかを確認のうえ、受入地区に学生の旅行や地元での活動による大きなリスク、帰国時に入国困難になる可能性があれば、必要不可欠な旅行の中止または延期を検討できます。親・保護者が懸念を抱いている場合、可能な限り、学生をほかの場所に移動させることを検討してください。親・保護者が学生の帰国を選ぶ場合もあります。

インターアクトとRYLA

計画されているイベント、旅行、地元活動が青少年にとって大きなリスクになるかどうかを検討し、必要不可欠ではない旅行、大勢が集まる行事の中止や延期を検討してください。

ロータリー財団補助金プログラム

3～4月予定の旅行を含む地区補助金またはグローバル補助金を提唱されている場合、補助金による旅行を延期してください。ただし、帰国する奨学生は唯一の例外となります。

ロータリーの費用による旅行

RIはロータリーの費用による旅行者がWHOおよび自国の保健当局が定めるガイドラインに従うことを推奨しています。ロータリーの旅行禁止国のリストに目を通し、補助金による旅行が認められるかどうかをクラブ・地区と確認してください。

掲載にあたって

ガバナー 浅木 幸雄 (神戸)

やむなく圧縮開催となった大会プログラムに於いて、パー・ホイエンRI会長代理には本来二日間に亘って予定されていた「会長幹事会・特別講話（一日目）」「本会議・基調講演（二日目）」を、新設した「RI会長代理公式セッション」内の「基調講演」として、一本にまとめていただくことになりました。

RI会長代理には突然の要請にご快諾いただいたのみならず、緊迫した状況へのご理解と今回の決断、さらには当地区に於ける結束と実行力に対する温かな賛辞も交えられ、終始一貫、熱意と温情溢れる素晴らしいスピーチでありました。

しかしながら、当日のご参加はご来賓はじめ各クラブ会長・幹事ほか、やむを得ず限られた皆様のみであったことを踏まえ、さらに速報性を重視し、異例ではありますが今号に掲載する次第です。

以下は本来予定されていた「会長・幹事会」「本会議」それぞれの講演予定稿を敢えて当初のタイトルそのまま、その全文を別個の形で掲載しております。皆様におかれては以上の趣旨をご賢察のうえ、この機会に是非ともご精読いただき、パー・ホイエンRI会長代理が示された熱情と友愛のところに僅かでも触れていただくことが出来れば、小職として望外の喜びであります。

パー・ホイエンRI会長代理「特別講話」



国際ロータリー会長代理
パー・ホイエン(Per Høyen)

クラブ会長ならびにクラブ幹事の皆様、こんにちは。



本日午後、ここにお集まりのクラブ役員の皆様にお話できることを非常に光栄に存じます。地元の地域社会におけるロータリーの向上のために多大の努力を払われ、ロータリーの成長に尽力されている皆様にマーク・マローニー会長に代わってお礼を申し上げます。

ロータリーの成長はマーク会長が私たちに要請されてきたことです。会長はそうした要請をされた時、ロータリーの成長は一夜のうちに成し得るようなことではなく、ロータリーを確実により強力なも

のにすることは私たち全員が継続的に果たすべき重要な義務であるとも明言されました。

エヴァンストンにあるRI本部から私は皆様の地区のこの10年間の会員構成の経緯を明記したプロフィールを受け取りました。そのプロフィールによると、この10年間に皆様の地区は会員の10%近くを失っています。現在、皆様の地区の会員数は10年前と比べて10%少なくなっています。

こうした事態は世界の他の地区でも起きています。悠長に構えて成り行きに任せているわけにはいきません。世界がより多くのロータリアンを必要としている時にこの会員減少傾向の流れを変えるために私たち全員ができる限りのことをしなければなりません。

皆様はそれぞれのクラブのリーダーであり、会員の維持と獲得は皆様が果たすべき最も大切な責任の1つです。皆様のクラブに会員維持獲得委員会があるかどうかは私にはわかりません。そうした委員会が皆様のクラブにあることを願っていますが、もしもないのであれば、マーク会長はそうした委員会の創設を望んでおり、何故、クラブは会員を留めておくことが難しいのか、また何故、新しい会員を獲得することが難しいのかを皆様が深く掘り下げて調査することを望んでいると思います。

会員数が減少する理由あるいは入会する会員が少ない理由は、クラブが求めている人たちはクラブの会合が開かれている平日に会合に出席することができないからなのか？あるいは会員になる可能性がある人たちはランチ会議に参加することができないからなのか？

主に退職した人たちのためのクラブになっていることが原因ではないのか？あるいはクラブの奉仕プロジェクトが若い人たちにとっては十分に魅力的ではないからなのか？

もしくは仕事が忙しく、また家族がいて家族と過ごす必要があるため、週1回の会合に出席することができないからなのか？

数多くの要因を明らかにしていくことで、ロータリアンとなる可能性がある人たちを会員として獲得するために提供しなければならないことを、クラブが提供していないことがわかってくるでしょう。

皆様のクラブの会員問題を深く掘り下げて取り組むことで、より多くのロータリー会員を獲得するためには、皆様のクラブが提供していない選択肢を提供する新しいクラブが必要であることがわかってくるでしょう。過去2回の規定審議会では、新しいクラブモデルを構築しやすくし、クラブ会員が近隣における新しいクラブの設立を納得しやすくしました。

皆様のクラブが新しいクラブから競争をしかけられることはないし、新しいクラブは皆様のクラブの奉仕プロジェクトに協力するであろうという私の言葉を信じてください。マーク会長が言っているように、世界をより良い場所にするために必要なことを行うためにはより多くの人手が必要です。影響力を及ぼす必要がある場合、2つないしそれ以上のクラブが協力することでより多くの影響力を及ぼすことができるので、実際には好都合なのです。

会員数についての努力とは自分のクラブの新会員獲得ということだけではありません。仕事上の付き合いがある人や皆様の家族で、会員になりたいけれど住んでいる場所が遠いという人がいるでしょう。そうした人たちを近くのクラブに紹介して、ロータリー入会を促すように要請することを考えたことがありますか？ないのであれば、考えるべきです。

私が地区ガバナーであった時、デンマークの私の地区にはリトアニア共和国も含まれていました。バルト三国の1つであるリトアニアは長年にわたりソ

ビエト連邦の占領下にありました。占領の壁が壊された時、国際ロータリーはリトアニアを私の地区に所属させることに決めました。私たちのタスクはリトアニアにおけるロータリーの再建でした。1990年代初めにこのタスクはスタートしました。再建の進展は素晴らしいものでした。現在、リトアニアは独立した地区となっています。



リトアニアについてお話する理由は、リトアニアの多くのロータリークラブが女性の入会を歓迎していないことを知っているからです。リトアニアのクラブにとってこのことは古くからの文化に由来するものだと思っています。日本にも同じような文化があるのかどうかは私にはわかりません。もしもデリケートな部分に私が踏み込んでいるのであれば、お許しください。

皆様の地区には女性のロータリアンが少数しかいないことは知っています。私の経験からしますと、クラブが女性の入会を促した場合、有益な影響があります。クラブの外でリーダーシップを取る立場にいる女性を私たちも必要としているため、クラブのレベルだけでなく地区レベルで女性会員は有益な影響をもたらします。

会員数について話をする場合、リーダーの立場にある女性たちに注目する必要があります。男女が協力することによって思ってもみなかった可能性が生まれると思います。より多くの女性のクラブ入会を

促すことは皆様にとっても有益となるはずです。

そして全てはリーダーシップにかかっています。本ロータリー年度の間、皆様は仲間であるロータリアンのリーダーとしていくつかの大きな挑戦事項を抱えてこられました。昨年、1年前には予想していなかった難題に皆様全員が直面されたことは間違いないと思います。

ロータリーのようなボランティア組織のリーダーが果たすべき役割は、前向きなアプローチを必要とする特別な課題に対処することです。民間事業者の場合と違って、ロータリーのリーダーはボランティアを叱責することはできないし、ボランティアが任務を遂行しなくても彼らを解雇することはできません。

皆様はボランティアからの提案や情報に敏感に反応し、彼らが積極的に参加するように仕向け、チームワークを促さなければなりません。ロータリーの場合は特にそうです。ロータリーは能力に定評のあるリーダーで構成されています。リーダーの持つ専門知識を高く評価し、活用すべきです。

優れたリーダーシップとは、リーダーが自身の資質をあからさまに示すことを極力避け、主導対象とする人たちの資質を最大限に生かすことです。

皆様は課せられた任務の遂行に取り組まなければなりません。その任務の対象はロータリー、家族、真剣に努力しているあらゆる事柄であって、自分自身ではありません。

敵は誰かと訊かれたガンディは「最大の難敵はM. K. ガンディと称する男だ。彼と一緒にいると私はごくわずかな影響力しか持っていないように思われる」と答えています。

私たちのほとんどについても同じことが言えると思います。抑制が非常に難しいのが自我であり虚栄心です。効果的なリーダーであるためには、自分以

外に目を向けなければなりません。

皆様はロータリーのなかでリーダーとしての重要な地位にあります。その地位とは権限を有する地位なのか、それとも機会を与えられた地位なのかと自問してみてください。どちらを選択するかによって、効果的なリーダーであるかどうかが決まってきます。

アルベルト・シュヴァイツァーは、「他者に影響力を及ぼそうとする場合、最も重要なことは模範であるというより、模範を示すしかない」と述べています。

皆様が就任されてからほぼ1年が過ぎました。仲間であるロータリアンはリーダーである自分をどのように評価しているのかを皆様は想像することしかできません。実際のところ、本当のことはわかりません。

しかし、今年度の準備を開始してから皆様が歩んでこられた道程ならびにパフォーマンスは、皆様がリーダーとして奏功してきたかどうかのとりあえずのヒントにはなるでしょう。

皆様はそうしたヒントを得られていると思います。ロータリーにおける私の経験から、ロータリーの理想は、ロータリーという素晴らしい組織においてリーダーという新しい立場にいつでも就くことができるように、人としての向上を続け、前に押し進めるものだということがわかっています。

ロータリーで経験できる挑戦は素晴らしいものであり、ロータリーでは世界をより良い場所にしなければならぬという同じ大望を抱き、志を同じくする友人のなかにいることで、自分のスキルと自分自身を試すことができる最高の可能性が得られます。

このロータリー年度中に皆様が行なってこられたことに対してマーク会長と理事会に代わってお礼を申し上げます。

信じられないかもしれませんが、ロータリーに奉仕した忙しい1年が終わった後、燃え尽きることがあるかもしれません。しかし、ロータリーは既に皆様の血となり肉となっていると思いますので、こうした燃え尽きは人生という長い旅路におけるひと休みでしかありません。

その長い旅路には引き返す道はありません。仲間であるロータリアンのために、特に世話をしてくれる人を本当に必要としている人たちのために進み続けることとなります。

皆様のロータリークラブのリーダーとしての役割はまだ数か月残っています。リーダーである皆様はマーク会長が生涯のテーマとして私たちに示した「ロータリーは世界をつなぐ」に触発されてこられたことと思います。世界的なロータリーファミリーの一員である場合、このテーマは全くもって真実です。ロータリーは間違いなく世界をつないでいきます。

ロータリーのために努力を続け、世界とつながりながら、ロータリーのために働かれる皆様一人ひとりのご多幸をお祈りしています。

ご清聴ありがとうございました。ロータリーの旅をどうぞ楽しんでください。



パー・ホイエンRI会長代理「基調講演」

三木RI理事、浅木幸雄地区ガバナーそして元、今年度、ならびに次期役員の皆様、ロータリアンならびにロータリーの友人の皆様、マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長の代理として本日、この場にいることを非常に嬉しく光栄に思います。マーク会長と彼の奥様であるゲイからはお二人の心からの挨拶を皆様にお伝えし、世界をより良くするために皆様が払っておられる多大の努力に対して皆様一人ひとりに感謝の気持ちを伝えるように、と頼まれました。

また、日本に到着して以降、アネッテ (Anette) と私が受けている温かい歓迎に対して皆様全員に感謝したいと思います。私たちは初めて日本に来ました。マーク会長から代理としてこの地区大会に出席するように依頼されて以来ずっと、私たちは日出る国である日本を訪問する機会が遂にきたと心を躍らせていました。これはマーク会長が本ロータリー年度のテーマとして示した「ロータリーは世界をつなぐ」の素晴らしい実例です。



今日はロータリー全般について、そしてロータリーが抱えている挑戦事項のうちのいくつかについてお話しします。ロータリーの会員数については非常に多くのことを私たちは話し合っています。マーク会長はなすべきことの最上位に会員数を位置づけており、私たちがロータリーを成長させることを望んでいます。この15年間、世界のロータリー会員数は120万人止まりとなっています。この10年間でロー

タリーは120万人を超える新会員を獲得してきました。簡単に言ってしまうと、毎年、新しく会員になった数と同じ数の会員をロータリーは失っているということになります。

毎年、私たちは同じ問題について、恐らくは異なる方法で話し合っています。世界の一部の場所ではロータリーは急成長しています。しかし多くの地域では私たちが期待した変化を見ることができていません。昨年は誰も望んでいなかったロータリー記録が出てしまいました。ロータリーを脱会した人が記録的な数になったのです。

ロータリーでの経験は期待していたものではなかったという理由で去っていった会員もいました。

終生、ロータリーを愛していた人たちもいました。彼らはロータリーを離れる時、彼らの能力、経験、リーダーシップも一緒に持っていきました。

マーク会長がサンディエゴの地区ガバナーに向けて話をした時の内容をご紹介します。マーク会長は「失った会員数の代わりに、より多くの会員を獲得することは解決策ではない。それでは沢山の孔が開いているバケツにより多くの水を注ぐようなものだ。会員を失う根本原因に対処する必要がある。根本原因は会員とのエンゲージメントが本来、あるべき状態になっていないことと、会員の構成が着実に高齢化していることである。

いくつかの基本的な変革を行なうべき時であることは明らかである。会員とのエンゲージメントがあり、会員構成を多様化するための障壁となっているものは何であるかを私たちは既にわかっている。わかっていることを踏まえて行動を起こすべき時である。会員資格の新しいモデルを構築し、ロータリーの会員になるための新しい道を開き、既存のクラブが現在のニーズを満たしていない場合は新しいロータリークラブとローターアクトクラブを創設する必要がある。そのためにはクラブのリーダーは自分のクラブを成長させ、全体的な会員数を増やすことが何故、非常に重要なのかをしっかりと理解するだけ

でなく、それを行なうための効果的な組織構造を確実に持っていなければならない」と語っています。



世界的調査から、会員になった年に多くのロータリアンが孤独を感じたから、クラブとのエンゲージメントが得られないからという理由でロータリーを去っています。ビジネスに携わっている人は誰でも、新しい顧客を獲得することがいかに大変であるかを知っており、最初の注文品を納入した時には電話をかけて、その顧客が納品に満足したかどうかを尋ねます。また、その新しい顧客を失わないようにし、長続きする関係を築くためにその顧客と定期的に接触します。

ロータリーでは何故、この簡単な販売テクニックを使用しないのでしょうか。使用しないことは、ようやく入会してくれた人を歓迎し、その会員のジャケットにロータリーの記章を着けた時点で、私たちはその新しい会員のことをすっかり忘れてしまうようなものです。

全てのロータリアンは、自分が現在所属しているロータリークラブに入会するだろうか、と自問してみるべきです。入会しないのであれば、何故しないのか、所属しているロータリークラブをより魅力的にし、誇ることができるクラブに変えるためには何が必要なのか、と自問してみるべきです。

私は入会してから約18ヶ月後に最初のロータリークラブを脱会しました。誰も私のことを気にしてくれなかったからです。次に入会したクラブでも同じことが起きました。私はロータリーを脱会しようとしていました。2003年7月1日の2週間前に、

会長エレクトが辞任したので7月1日までに会長として立つことができるかどうかを訊かれなかったら、私はほぼ確実に脱会していたでしょう。

その時はロータリーが私を求めているという確信はなかったのですが、私がロータリーを求めています。そのため、その問いかけを救いの手として受け取りました。クラブに変化をもたらす機会を与えてくれる誘いを受け入れたのです。

ほんの少しのことで実際に起きる可能性があることに目を向けてください。私の場合は思いがけないことにロータリーと私とのエンゲージメントを開始するステップとなりました。この17年間に、私はロータリー脱会を決めた存在から、ロータリアンになり、そして所属するロータリークラブの会長へと変わりました。ガバナー補佐、地区ガバナー、国際ロータリー理事、国際ロータリー財務長を歴任し、現在はロータリー財団の管理委員を務めています。



全てはリーダーシップにかかっていると云わなければなりません。リーダーが注目すべきなのは未来です。ロータリーの未来は私たちの一番の関心事です。2、3年前にロータリーの理事会と管理委員会はロータリーの新しいビジョン声明を承認しました。その声明とは次のようなものです。

「私たちは共に、世界で、地域社会で、そして自分自身のなかで、変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。」

このビジョン声明はロータリーが今後何年かのうちに隆盛を迎えることができるように将来の進路を私たちが設定する指針となります。また、世界に対

して、会員に対してロータリーが及ぼしたいと切望する影響を反映しています。

ロータリーには3つの優先事項があります。それら全てが等しく重要であることを私たちは知っています。しかしながら、会員数を含む3つの優先事項のうちの残りの2つ、即ち、公共的イメージと一般の人々の認知度を高めるという優先事項と、人道的奉仕に焦点を当て人道的奉仕を強化するという優先事項を実現するために要となるのは強力なクラブです。強力なクラブとは一般市民の関心を引き付ける適切な奉仕を行い、地域社会におけるロータリーの存在が確かなものであることを実証するクラブです。

強力なクラブは、温かいもてなしで相手を歓迎し、会員が友情と共通の目的を享受する環境を提供します。強力なクラブは入会したての新会員から最古参の会員に至るまでそのクラブの全会員とのエンゲージメントを維持します。そうすることによって強力なクラブは成長していきます。

これらの特性を備えたクラブは会員数を増やし、人道的奉仕に焦点を当て、かかる奉仕を強化し、ロータリーの公共的イメージと一般市民の認知度を高めることに成功します。クラブの質が一貫していなければならないとすれば、私たちのメッセージの内容もなおさらのこと一貫性がなければなりません。

10人のロータリアンにロータリーについて説明するように要求してみてください。10人それぞれから異なる10のエレベータースピーチ（要点だけを述べた簡単な説明）が返ってくる可能性が高いです。ロータリーの強みは各会員がそれぞれ独自に個人的にロータリーを経験していることです。それでは、ロータリーはどのような糸でつながれているのでしょうか？

ロータリーの公共的イメージと一般の人々の認知度を高めることは私たちの戦略的優先事項の1つです。ロータリーという名称を馴染みのあるものにするための要となるのがクラブです。志を同じくする人たちが一丸となって信頼し合える友情を築き、地

元の地域社会やその他の場所で人々の役に立つ有意義なプロジェクトを行うことができるようにする存在がロータリークラブなのです。このことは110年間変わっていません。しかし、私たちを取り巻く世界は変化してきました。世界の変化に伴って皆さんのクラブは変化してきたのでしょうか？



変化してきたのかと自問する時、ご自身の素晴らしいクラブ、仲間と共に地元の隣人や世界の人たちに関わり、ニーズを満たし、それと同時に自分も楽しんでるクラブのことが頭に浮かぶでしょう。

次に別のクラブについて考えてみてください。新しい会員が入ってこない、新しい会員の入会祝いをすることができない、新しい会員とのエンゲージメントがないことで苦労しているクラブのことを考えてみてください。

皆様は、伝統を大事にし、会員になる見込みのある人を疎外している会議を傍聴したことがおありでしょう。また、インターアクター、ローターアクター、ロータリーファミリーに留まるためのモチベーションを与えず、鼓舞する関係を築いていないスポンサークラブをご存じでしょう。これらのクラブがロータリーの理念を果たすためにはどのような手助けができるかを自問してみてください。

多くのローターアクターが年齢のためにローターアクトを離れなければならない時、彼らが去ることでロータリーが失うことになるローターアクトのことを私は彼らに明確に伝えています。ローターアクターの経験のある人たちの大半がロータリーへの入会を促されていないことを私たちは知っています。

これは非常に悲しいことです。今日の若い人たちは私たちと一緒にいたいと考えており、プロジェクトに関わることを望んでいるからです。

ロータリーの3つの優先事項は私たちを結束させます。あらゆるロータリアンは的を絞った人道的奉仕を提供し、好ましい公共的イメージを持つ強力なクラブに所属したいと思っているからです。



ロータリアンは賢明で、情に厚く、目的を貫き、人を元気づけます。過去および現在の私たちの調査からこのことは確認されています。ロータリアンはクラブがより効果的にクラブの物語を語るための助けとなる新しいツールと資源を求めています。若者と一緒に地域社会で、より多くの、より良い奉仕を行うために、また世界中でより一貫性のあるイメージの組織として存在するために。

ロータリーはそのためのツールを提供していきます。それらのツールはクラブが最善を尽くすのに役立つように、クラブの進化を手助けできるように特別に設計されています。ロータリークラブセンターはクラブが会員数、奉仕、贈り物、公共的イメージの目標を設定して追跡できるようにするために立ち上げられました。

約100万年前、人類の最も高度なツールはハンドアックス（石斧）でした。ハンドアックスは首尾よく生活するための必須道具でした。現在の最も洗練されたツールはスマートフォンです。長い年月を経て、斧からスマートフォンへと進化してきました。ロータリーは新しい時代に入るにつれて登場する新しいツールとテクノロジーを積極的に使用して

います。

これまで私はロータリー内部の最優先事項である会員数について話をしてきました。私たちは全員、ロータリーの外部的な最優先事項についても承知しています。80年代から続いているポリオ撲滅です。

これは非常に重要な挑戦事項です。ロータリアンは長年にわたって、ポリオウィルス根絶に真剣に取り組んできました。世界中のロータリアンが資金を集め、ポリオ撲滅を提唱してきました。多くのロータリアンが自己資金で、ポリオ感染のある国に出かけ、予防接種活動をしてきました。

アネット（Anette）と私は数年前、インドにいました。予防接種活動を行なうためにカナダと米国の小グループのロータリアンと一緒にナイジェリアに行きました。私たちは重装備の警備員に囲まれて、ボコ・ハラム（ナイジェリアのサラフィー・ジハード主義組織）に故郷を追われたナイジェリアの女性と子供が暮らす難民キャンプに行きました。



私たちは皆、難民キャンプの報道をテレビで見ることがあります。しかし、実際にその場に行ってみると報道とでは雲泥の差があります。そこの人々のあまりにひどい生活条件、難民キャンプに漂う悪臭を実際に肌で感じ、何百という虚ろな目を見てしまうと心が折れてしまい、人生観が変わってしまいます。

そうしたひどい生活条件下で暮らしながら、人生を変えてしまう予防接種を子供たちにしたことに対して私たちに感謝するエネルギーを、難民キャンプの女性たちはどこから得ているのかを私は未だに理

解しかねています。

難民キャンプにおける経験と対照的だったのが学校訪問における経験でした。その学校の子供たちは私たちのために全員で歌と踊りを披露してくれました。人生を変える2回の予防接種を受け入れたご褒美として彼らに小さなキャンディをあげたからです。

予防接種キャンペーンに参加したことのある人たちはそれぞれ独自の事例と物語を持っていると思います。語られなければならない物語と事例は人の数だけあります。今はそれほどではありませんが以前は非常に支援的立場にあり、「私たちには強い連帯感がある」と言われてきたロータリアンの間でさえ、語るべき物語と事例は人の数だけあると思います。

ポリオの犠牲者の数が昨年、劇的に増えたことを私たちは皆、知っていますが、私たちには強い連帯感があります。大変な難題に挑戦することになりますが、私たちはポリオ撲滅を成し遂げます。最後の症例を確認した日からポリオのない世界宣言ができるまでには3年はかかることがわかってくるでしょう。



この重要な3年の間に私たちは何百万人という子供たちにワクチン接種をし続けなければなりません。この職務を遂行するためには16億米ドルが必要であると試算されています。財政的支援が必要なため、皆様がこのポリオ撲滅プログラムの支援を続けられることを奨励します。

ロータリーが早い段階で行なったことの中から

1つだけを選ばなければならないとしたら、沢山のの中から選ぶことになりますが、私はロータリー財団の設立を挙げるでしょう。その理由は、ロータリー財団の設立によって、私たちは非常に多くのことができるようになり、世界の隅々に、非常に多くの人々に、非常に多くの方法で希望をもたらすことができるようになったからです。



皆様もいずれおわかりになるでしょうが、ロータリーの第4の目的は奉仕理念で結ばれた実業家や専門家の世界的な親交を通して国際的な理解、親善、平和を推進することです。

あらゆるロータリークラブが、奉仕理念を実践するために協力する実業家と専門家の親睦の機会を提供しています。

しかし、私たちロータリアンがプロジェクトやプログラムを開始する時に幾度となく支援を求めて頼ることができ、国際的な理解と親善と平和を実際に推進できるようにするのはロータリー財団の支援資源とプログラムです。

確かに私たちはロータリーの目的達成を実現するための新計画に独自に着手することができます。しかし、現在の形になるようにロータリー財団を作り上げてきたおかげで、財団がない場合よりはるかに多くのことを私たちは共同で成し遂げることができたのです。

ロータリー財団は私たちロータリアンそのものであると認識することが重要です！

- ・寄付によるロータリー財団基金の大半は個人としてのロータリアンやクラブからのものです。

- ・こうした基金をどのように使用すべきかについてのアイデアはロータリアンから出されます。
- ・ロータリアンは、ロータリー財団から資金提供を受けて、実際のプロジェクトや新計画に、時には他組織と提携して着手します。
- ・ロータリー財団の実際の運営はロータリアンが監視し制御します。私たちのプロジェクトの監査もロータリアンが行います。

言い換えると、ロータリアンは開始から最後までロータリー財団そのものなのです！



ロータリー財団は世界で最も成功している民間財団の1つとなりました。最大の財団ではありませんが、最も成功し、全世界で最適に運営されている財団の1つとして認知されています。

毎年、9,000を超える米国の慈善団体の実績を評価しているチャリティナビゲーターはロータリー財団に宛てた書簡のなかで、次のように述べています。

「私たちが評価する慈善団体のなかで、少なくとも11回続けて4つ星の評価を受けたことのある団体は1%しかありません。このことはロータリー財団がアメリカの他の慈善団体の実績を凌いでいることを示しています。チャリティナビゲーターからのこの異例の評価は、ロータリー財団を他の慈善団体とは別格の存在とみなすものであり、一般市民にその信頼性を実証するものです。」

この格付けはロータリー財団が寄付金をどのように使い、プログラムと奉仕をどのように持続し、優れたガバナンスと開放性をどのように実践している

かについてのチャリティナビゲーターの評価を反映したものです。

財団の年次基金のおかげで世界に変化をもたらすために私たちは毎年、何億もの資金を調達して費やしています。

皆様の地区ならびに世界各地のロータリアンの寛容な心が、困窮している人々や、紛争地域で平和を構築したいという熱意を持った若者のために、また特に多くの人にとって世界をより良い場所にするために素晴らしい変化をもたらしてきました。

ロータリー財団への皆様の財政的支援の恩恵を受けた人たちに代わって、皆様の寛容さに感謝すると共に、今後ともご支援くださるよう、よろしくお願い致します。

ロータリーは世界をつなぎます。人類のために皆様が行なっておられること、また素晴らしい組織であるロータリーへの皆様のコミットメントに感謝します。

以上が皆様への私のメッセージです。ご清聴ありがとうございました。この後の会議が素晴らしいものとなりますように。



4月の地区活動予定

【地区行事等の開催自粛について】

※ 3月12日(木)臨時地区運営会議にて決定、ガバナー承認

1. 2019-20年度に関係する地区行事・地区プログラム・地区委員会等

2020年3月16日(月)～4月19日(日)の開催を自粛する。

但し地区補助金小委員会・地区社会奉仕小委員会については、2020年3月16日(月)～4月26日(日)の開催を自粛する。いずれも、この期間内に打ち合わせが必要な事柄については、オンライン対応を以て行う。

尚、上記各期間経過後の対策については、後日あらためて同様の通知を行う。

2. 2020-21年度に関係する地区行事・地区プログラム・地区委員会等

会議・面接方法等について配慮や工夫を求めるが、次年度準備の重要性を鑑み、1.項に挙げた期間内の開催について特段の制限は設けない。

3. 以上は3月13日(金)を以て地区内全クラブに通知済。

日 時	行 事 名	場 所
4月23日(木) 13:40～15:00	第21回地区幹事会	ガバナー事務所会議室
25日(土) 13:00～14:00	第8回米山記念奨学委員会	神戸ポートピアホテル
14:30～16:00	2020学年度カウンセラー・奨学生オリエンテーション	神戸ポートピアホテル

* 4月29日(水・祝)開催予定の2020年地区研修・協議会は中止となりました。

文庫通信 (381号)

◆◆◆ 文庫デジタル化資料より ◆◆◆

◎ ロータリー理解推進月間に因んで (例会スピーチ)

増田房二／京都山科RC D.265 PDG 2000 7p ※

◎ 回首原点－ロータリーの心を尋ねて (その7)

佐古亮尊／大村北RC D.2740 PDG 2011 224p ※

◎ 新ロータリーを語ろう

久野 薫／神戸東RC D.2680 PDG 2015 132p ※

◎ 夢を語り、現在 (いま) を刷新 (ガバナー月信ロータリーコラム総集編)

刀根莊兵衛／敦賀RC D.2650 PDG 2017 67p ※

◎ ロータリーの心をたずねて

富田英壽／甘木RC D.2700 PDG 2017 104p ※

◎ ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案

黒田正宏／八戸南 RC D.2830 PDG 元RI理事 2017 71p ※

上記※印はデジタル化されている資料です。

資料の検索は文庫ホームページから <https://www.rotary-bunko.gr.jp/>

2月15日(土)◆神戸ポートピアホテル

神戸第2グループガバナー補佐 **奥田 祐司**(神戸中)

去る令和2年2月15日(土)に、「未来に繋ぐ、未来を創る—Mission! Passion! Action!—」をテーマに、神戸ポートピアホテルに於いて、神戸第2グループのIMを開催いたしました。

基調講演は、「未来に繋ぐ、未来を創るために今ロータリアンが果たすべき使命とは？」をテーマに、ロータリーの歴史と哲学を踏まえ、今日のロー

タリーを未来へと繋ぐための課題と使命を中村尚義パストガバナーにご講演いただきました。

続いて、永井幸寿コーディネーターのもと、各クラブの代表に、「ロータリーに入会して感じた事、気付いた事」を発表していただきました。懇親会では、ロータリアンの友情と親睦を大いに深め、意義深いIMとなりました。



2021学年度米山記念奨学金学校説明会

2月27日(木)◆JEC日本研修センター神戸元町

米山記念奨学委員長 **秦 紳一郎**(洲本)

2021学年度米山記念奨学生応募に向けての学校説明会を開催いたしました。この説明会は、奨学金応募対象の全ての学校に案内をして、指定校となるためにも参加いただきます。優秀な学生を推薦してもらうために、出席者にはロータリーと米山記念奨学事業を理解してもらうとともに、応募に向けた留意事項などについて説明します。

今回は、大学と専門学校合わせて11校の出席を得ました。まずロータリーの歴史や米山記念奨学金の特徴、ロータリアンが寄付金に託す思い、国際理解と国際平和を目的とする人づくりが目的であることなどを説明しました。その後、当地区の選考の特徴

と流れを説明し、どのような学生を採用したいか、奨学生としての義務、交流の大切さなどをお話しいたしました。



相生ロータリークラブ

子供の屋外遊び場設置のためのワークショップ

「なぜ、今、プレーパーク？」と題された受講者参加型の講演会を開催し、市民にプレーパークの概要、設置の必要性と理解を促すとともに、日を異にして行った「プレーパーク」では、参加した市民、講師、ロータリアン、或いは参加者同士の交流により、今後の事業展開に向けて人材確保の一助となった。

クラブとしては、関係者と開催場所等を協議決定し、PR、動員、運営等を行うことによって社会奉仕の理念及び実践の理解に貢献した。

また、地域社会におけるロータリーのネットワークを発展させるため、新聞折込や、地域広報誌である「相生ライフ」を活用し、ロータリークラブの地域社会への社会奉仕活動の認知を深めた。

両日ともにロータリークラブのポリオ根絶活動について紹介し、募金箱を設置して国際社会への奉仕活動について地域住民の認知を深めた。

(文責：会長 大西 恒祐)

▶9月8日(日)、29日(日)

▶ 8日(日) 相生文化会館

29日(日) 相生市立中央公園、芝生広場

プロジェクト予算総額：345,000円 地区補助金額：172,500円



豊岡ロータリークラブ

豊岡で暮らす外国人と市民との国際交流イベント

豊岡RC・豊岡RAC・豊岡総合高校IAC・NPO法人にほんご豊岡「あいうえお」の4団体が協力して、豊岡で暮らす外国人54名と豊岡市民27名を招いて多文化共生社会のまちづくりを考える「国際交流イベント」テーマ～みんなで暮らすまち～を開催した。

第1部のワークショップでは、全体を8つのグループに分け～みんなで暮らすまち～を「あいうえお作文」で文字や絵で表現をし、グループごとに発表を行った。まだ日本語を十分に理解できていない外国人と市民との共同作業としては有効であり、グループごとに大変盛り上がっていた。

第2部では、交流会として自由に移動できる様に、バイキング形式で食事を取りながら親睦を深めた。このイベントを通して、居住外国人の実情、増加する外国人に対する市民の考えを知ることが出来、改めて相互理解のための交流の大切さを実感した。

(文責：青少年奉仕委員長 玉生田 尚士)

▶12月1日(日)

▶アールベルアンジェ豊岡

プロジェクト予算総額：463,350円 地区補助金額：231,675円



2月16日(日) ◆西協商工会議所

次期代表幹事 **前川 秀一**(西協)

高瀬ガバナー年度に向けてのスタートとして、次期ガバナー補佐・次期地区委員長はじめ役員スタッフによる地区チーム研修セミナーを西協で開催しました。マスク、消毒薬の用意などできる限りの新型コロナウイルス対策をしておいた開催となりました。

浅木ガバナー並びに三木明RI理事の挨拶の後、石丸鐵太郎次期地区研修リーダーの「**地区チームの役割**」について説明があり、続いて、高瀬ガバナーエレクトより「**RI会長テーマと地区活動方針**」についてプレゼンテーションがありました。その中で1月19日から25日までサンディエゴで行われた国際協議会の報告をされ、RI会長のテーマが、**Rotary Opens Opportunities**、日本語訳が「ロータリーは機会の扉を開く」についての説明があり、ガバナー運営・活動方針「**ロータリーの魅力を語り、伝えよう**」とのスローガンの発表がありました。

地区運営方針並びに重点目標として、「**グループフェスタ**を実施し、**公共イメージの向上を図り会員増強**に結び付ける」との発表があり、各委員会の活動方針の示唆がありました。数値目標として、「**会員増強各クラブ純増1名、My ROTARY登録率**

70%、R財団年次寄付**1名160\$**、R財団恒久基金ベネファクターまたは**遺贈友の会会員10名増**、**ポリオ基金1名30\$**、**米山記念奨学金1名17,000円**」が発表され、最後にクラブ向けのメッセージ、年間スケジュール並びにロータリー研修デー及び地区組織の説明がなされました。

分科会では6テーブル8部門に分かれて地区研修・協議会及び委員会活動方針の協議がなされました。ガバナー補佐分科会では13グループすべてがグループフェスタを開催予定とのことで、進捗状況、補助金等の確認がなされました。各グループに対しては、地区委員会にできる限り協力を依頼いただき、より効果の大きい事業になることを願っております。





■ COVID-19の拡散防止に協力するロータリー

本文昨年12月初旬に中国の武漢で発生したCOVID-19の拡散防止が大きな話題になってきました。RIは2月27日付けで、政府によって会合の自粛要請または禁止令が出ている場合、あるいは地区リーダーが妥当であるとみなす場合は、6月末まで地区大会、地区の研修協議会、行事の自粛やオンラインでの開催など、各地区で柔軟に対応することを認めると連絡してきます。

3月8日～11日の間、RI本部（エバンストン）で2020年地域リーダー研修セミナーが予定されていて、私も参加を予定していました。2月27日には、研修担当の責任者は、「ロータリーは、エバンストン本部でのセミナーに出席される方の健康と安全を最優先しております。セミナーでは、ウイルス拡散防止のためのCDCの勧告に従い、追加の安全対策を取ります。」というコメントと共に、研修セミナーの開催を連絡して来ました。29日になると、「飛行機での旅行と大人数での会合を回避することで、ウイルス接触の可能性を減らし、皆さまと職員へのリスクを軽減できると考えております。難しい決定ではありましたが、当方では皆さまの健康と安全を最優先しております。」として研修セミナーの中止を連絡して来ました。

拙文に目を通されている方の中にも苦渋の選択を迫られていらっしゃる方がおられると思います。勇気を持って、行事の中止や延期を決断し、ロータリーの見識を世の中の人達に示すこともロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないかと思う次第です。私達は世界を変える行動人です。

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 井原 實（さいたま新都心RC）

■ 会員増強の秘訣

これまで、私が全国各地でお話ししてきた「会員増強のhow-to」の講演では、いくつかの会員増強の方法をお示してきました。それを要約すれば、以下の5点です。

1. 例会の工夫・・・現会員が例会を楽しく感じられなければ、新会員を誘ってくる訳がありません。また、新会員でも「ロータリーは楽しい」と感じて自分の知人を誘ってくるためには、やはり例会が充実していなければなりません。これは、すべて会長、幹事の責任です。これまでのやり方にとらわれず、自分たちの方法で例会を盛り上げてください。過去に私の行った現会員向けのアンケートでは、これまで新会員をクラブに紹介したことのある会員の比率はなんと約40%という低水準であることが判明しております。反対に6割の会員は会員増強に無関心か、誘うべき友人を持たないかのいずれかです。現会員全員に新会員の勧誘を依頼しても空振りは必至です。友人・知人の多そうな明るくて元気な若手会員に絞って、真剣にクラブの将来を話し合うことが必要です。
2. 若手を中心とした毎月開催の「会員増強会議」・・・これは、若手中心という点と毎月会議を開催するという点がポイントです。ロータリーの新会員ターゲット層は若手が握っています。彼らに自由に増強を任せましょう。また、毎月開催することによって、その重要性が強調されます。若手会員に対し、「会長は増強を本気で考えている。」というメッセージを発信し、若手会員に増強を意識させることが大切です。
3. 勧誘のツール・・・私は3つの資料を会員の皆さんに携行していただきました。①クラブの略歴書（A4判1枚に要約）、②入会申込書、③「ロータリーとは？」の解説文書（雑誌『ロータリーの友』の左から6ページの部分）の3点です。これらを常に携行し、入会の可能性のある方に遭遇したら、即、入会を説得する資料として有効でした。
4. メークアップの奨励・・・会員に他のクラブを知る重要性を説きましょう。私はメークをする際、メークをしたことのない若手会員にも声を掛け、「メーク・ツアー」と称して自地区内はもとより、国内の他地区や海外へのクラブにもメークに出かけました。これまで、台湾やサイパンのクラブなどにも行きました。この経験は、若手がクラブの異同を知り、本気で自クラブの運営を考える好機になるものと確信しています。
5. 「ロータリー説明会（夕食会）」の開催・・・新会員候補者を一同に集め、会員達と一緒に夕食を囲みながらロータリーの説明をする会を実施しました。この場合の要諦は、説明をする人の人選です。ロータリー経験豊富な人、反対に入会間もない人、いろいろな人が想定されますが、共通して大切なのが、ロータリーが心底好きな人、ロータリーを楽しんでいる人に話をさせることです。孔子が『論語』にて言うには（「知好楽」のススメ）、『子曰く、これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず』（訳：「これを知っているだけの者は、これを愛好する者におよばない。これを愛好する者は、これを真に楽しむ者にはおよばない」）です。

最後に、新会員勧誘の際に絶対言ってはいけない一言をお教えます。それは、「自分はいま〇〇クラブの会員増強担当なんだ。うちのクラブは会員が少なくて困っている。貴方が入ってくれば増強〇人が達成できるんだ。なんとか協力してくれないか？」です。これではダメです。自分の保身のために入ってくれ、という論法ではその人は説得できません。

やはり、その人にとっていかに有益なクラブ・ライフであるかを説かなければならないのです。例えば、「貴方のこれからの人生においてロータリーは大いに価値があるものです。」と。あとは、自身が体験したロータリー・モーメントを具体例をもって話すこと。最近では、コトよりもモノが大切である、といいますが、体験談をストーリー仕立てで話す、ということが人の心を打つためには有効なようです。

第1地域ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫（高崎RC）

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

尼崎東



大谷 勸介
政治家(県議会議員)
2/19入会

芦屋



西田 俊一
石油製油D
2/12入会

姫路東



中山 弥生
不動産業
2019/6/3入会



武部 進
天然ガス供給
2019/6/3入会



前田 洋助
塗装工事
2019/12/16入会



丸尾 明弘
商事弁護士
2/3入会

上郡佐用



岡田 正春
海苔調整
2/14入会

ご寄付感謝・ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

ベネファクター



横田 勝年
(神戸東灘)



天羽 公夫
(甲子園)



隔山 泰三
(甲子園)



圓増 亮介
(篠山)



堀 成志
(篠山)



大見 春樹
(篠山)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



吉田 英昭
(篠山)



足立 成人
(柏原)



岸田 好史
(柏原)



上月安重郎
(柏原)



森田 茂樹
(柏原)



荻野 富雄
(柏原)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



大槻 祥三
(柏原)



坂谷 高義
(柏原)



佐久間正昭
(柏原)



篠倉 庸良
(柏原)



高橋 利明
(柏原)



田中 潔
(柏原)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



富田 博重
(柏原)



梅澤 正義
(柏原)



山名 純吾
(柏原)



柳川 拓三
(柏原)



吉住 俊一
(柏原)



岸元 善之
(姫路西)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



関本 盛男
(姫路西)



高山 恒夫
(尼崎東)



片山 覚
(篠山)



木戸 章博
(篠山)



小田垣 昇
(篠山)



足立 秀文
(柏原)

ポール・ハリス・フェロー



足立 均
(柏原)



荒樋 榮晋
(柏原)



坂東 隆弘
(柏原)



井上 雅仁
(柏原)



菊本 裕三
(柏原)



松本 武彦
(柏原)

ポール・ハリス・フェロー



荻野 泰男
(柏原)



岡林 利幸
(柏原)



坂本 浩
(柏原)



土田 博幸
(柏原)



余田 亮一
(柏原)

米山功労者メジャーダー(31回)

米山功労者メジャーダー(18回)

米山功労者(5回)

米山功労者(4回)

米山功労者(3回)



大室 僑
(宝塚武庫川)



小南 稔彦
(篠山)



後藤 武
(神戸)



佐々木志朗
(明石東)



井口 洋子
(上郡佐用)



池邊 善夫
(尼崎南)

米山功労者(3回)

米山功労者(2回)

米山功労者(1回)



瀧口 洋
(淡路三原)



平井 昌夫
(尼崎南)



大久保裕晴
(神戸)



寺本 督
(神戸)



磯田 雅司
(尼崎東)



福井 要
(神戸)

米山功労者(1回)



木村 卓哉
(神戸)



西本 誠實
(神戸)



高岡 浩三
(神戸)



三木 基司
(明石東)



岡田 良平
(明石東)



大森 喜和
(明石東)

米山功労者(1回)



阪田 真也
(明石東)



瀬川勝太郎
(明石東)

ガバナー事務所からのお知らせ

◆宝塚ホテル移転に伴う、4月～6月の宝塚RC・宝塚武庫川RC・宝塚中RCの例会場

(2020.3.24現在)

宝塚(月曜 12:30～)		宝塚武庫川(木曜 18:00～)		宝塚中(水曜 19:00～)		
4月	6日	コロナ対応のため 休会	2日	宝塚ワシントンホテル	1日	休会
	13日		9日		8日	ホテル若水
	20日		16日		15日	宝塚ワシントンホテル
	27日		23日		22日	ホテル若水
			30日	GWのため休会	29日	GWのため休会
5月	4日	GWのため休会	7日	GWのため休会	6日	GWのため休会
	11日	ホテル若水	14日	ホテル若水	13日	宝塚ワシントンホテル
	18日		21日		20日	ホテル若水
	25日	親睦移動例会 18:30～ 月地亭	28日		27日	移動例会 坂上会員邸(庭樹園)

※6月は3クラブとも新宝塚ホテルにて開催

国際ロータリー第2680地区 2020年2月会員数報告

	クラブ名	例会数	会員数						増	減		クラブ名	例会数	会員数						増	減
			7/1の会員数		当月末会員数		増 減							7/1の会員数		増 減					
			総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性						総数	うち女性	総数	うち女性				
尼崎6	尼崎	3	32	1	32	1	0	0	東播第一	明石	3	48	0	49	1	1	1				
	尼崎北	3	38	0	41	0	3	0		明石東	4	48	2	50	2	2	0				
	尼崎東	4	47	2	47	1	0	-1		明石北	3	41	0	42	0	1	0				
	尼崎西	3	36	2	40	2	4	0		小計		137	2	141	3	4	1				
	尼崎南	4	37	4	35	4	-2	0		東播第二	高砂	3	40	3	39	2	-1	-1			
	尼崎中	3	24	3	23	3	-1	0			加古川	3	77	0	76	0	-1	0			
	小計		214	12	218	11	4	-1			加古川中央	4	56	0	58	0	2	0			
阪神第一6	伊丹	4	39	0	42	0	3	0	東播第三	高砂青松	3	43	3	44	3	1	0				
	川西	4	31	6	29	6	-2	0		加古川平成	3	17	1	17	1	0	0				
	伊丹有明	4	17	0	17	0	0	0		小計		233	7	234	6	1	-1				
	川西猪名川	3	18	3	17	3	-1	0	淡路5	三木	3	56	1	54	1	-2	0				
	伊丹昆陽池	3	7	0	7	0	0	0		小野加東	2	47	1	51	1	4	0				
	西宮イブニング	2	16	8	17	8	1	0		北条	2	37	2	38	2	1	0				
阪神第二6	小計		128	17	129	17	1	0	西播第一	西脇	3	47	1	46	0	-1	-1				
	西宮	3	54	0	57	0	3	0		三木みどり	3	26	1	25	1	-1	0				
	芦屋	4	40	0	43	0	3	0		小計		213	6	214	5	1	-1				
	甲子園	4	39	2	41	3	2	1	西播第二	洲本	3	36	0	37	0	1	0				
	西宮夙川	3	33	3	34	3	1	0		南淡路	3	33	4	33	4	0	0				
芦屋川	3	29	4	29	4	0	0	淡路三原		3	19	0	19	0	0	0					
西宮恵美寿	4	24	4	24	4	0	0	津名	3	32	1	32	0	0	-1						
小計		219	13	228	14	9	1	あわじ中央	2	23	0	23	0	0	0						
阪神第三8	宝塚	2	16	1	16	1	0	0	小計		143	5	144	4	1	-1					
	三田	3	20	0	21	0	1	0	西播第三	姫路	3	82	1	84	1	2	0				
	篠山	2	46	0	44	0	-2	0		姫路南	3	72	0	73	0	1	0				
	柏原	4	46	0	45	0	-1	0		姫路西	3	65	1	63	1	-2	0				
	宝塚武庫川	4	36	1	36	1	0	0	姫路東	3	69	3	69	3	0	0					
	三田南	4	8	0	8	0	0	0	神崎	2	28	0	28	0	0	0					
	宝塚中	4	32	8	33	9	1	1	姫路中央	2	4	0	4	0	0	0					
	HYOGO REC	3	25	6	22	5	-3	-1	小計		320	5	321	5	1	0					
小計		229	16	225	16	-4	0	但馬5	赤穂	2	34	0	34	0	0	0					
神戸第一6	神戸	4	161	4	158	2	-3		-2	西播第四	相生	3	36	2	35	2	-1	0			
	神戸東	3	119	0	118	0	-1		0		龍野	4	44	5	41	5	-3	0			
	神戸東灘	3	29	5	30	5	1	0	上郡佐用		3	22	8	24	8	2	0				
	神戸南	3	83	0	86	0	3	0	小計		136	15	134	15	-2	0					
	神戸六甲	2	17	0	17	0	0	0	但馬	豊岡	4	46	1	40	0	-6	-1				
	神戸ベイ	2	20	2	20	2	0	0		生野	4	22	0	22	0	0	0				
小計		429	11	429	9	0	-2	香住		3	14	0	14	0	0	0					
神戸第二6	神戸西	2	59	6	59	8	0	2	豊岡円山川	4	27	0	27	0	0	0					
	神戸須磨	4	32	0	35	0	3	0	和田山	3	25	2	26	2	1	0					
	神戸垂水	4	26	6	28	7	2	1	小計		134	3	129	2	-5	-1					
	神戸西神	4	35	1	37	2	2	1	合計	71RC		2,757	133	2,773	133	16	0				
	神戸中	3	37	4	36	4	-1	0													
	神戸モーニング	3	33	4	32	5	-1	1													
小計		222	21	227	26	5	5														

- ◆クラブ数..... 71RC
- ◆2019年7月1日 クラブ会員数.....2,757人
- ◆2020年2月末 クラブ会員数.....2,773人
- ◆2020年2月末 女性会員数..... 133人

- ◆増 減..... 16人増
- ◆女性増減..... 0人増